

第28号議案

平成31年度使用中学校教科用図書採択について

上記の議案を提出する。

平成30年8月9日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 佐藤 正子

平成31年度より使用する  
文京区立中学校教科用図書について

平成31年度使用文京区立中学校教科用図書審議会

答 申

平成30年7月20日

## 特別の教科 道徳

道徳科の目標は、道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることである。

この目標に照らして、「特別の教科 道徳」の教科用図書としては、道徳的諸価値について自分との関わりも含めて理解し、物事を多面的・多角的に考え、判断する能力、道徳的心情、道徳的行為を行うための意欲や態度を育てることが重要な視点となる。

東京書籍は、道徳的諸価値についての理解を基に、多面的・多角的に考えることを通して、人間としての生き方について考えを深めることができるよう編集されている。

生命の尊重や現代的な課題、いじめ防止に関する教材について、生徒の身近な問題などが取り上げられている。また、各学年の巻末には、学期ごとのまとめに活用できるワークシートとともに、「考え議論する」道徳に活用できる心情円が用意されている。

各教材の「考えてみよう」には、2から3点の発問が用意されているが、その取り扱いについては、指導上の工夫が必要である。

学校図書は、「命」「自然」「世界・文化」「人・社会」を大切に、多様性を前提とした問題解決能力が育めるよう編集されている。

各教材には「学びの記録」が設けられており、生徒は教材を通して学習したことを振り返ることができ、指導者は評価に活用することも考えられる。なお、教科書の構成に縦書き横書きが含まれており、使用する上で気になるという意見もあった。

多様性を取り上げるなど様々な視点から教材が掲載されているが、1単位時間では扱いきれないテーマの教材も含まれており、指導上の工夫が必要である。

教育出版は、「考え、議論する道徳」を実現するため、自分自身と向き合い、友達と意見を交流させて深めていくことに重点をおいて編集されている。

導入部分と合わせて「学びの道しるべ」を関連させることで、授業の一助となる構成となっている。巻末には、「保護者記入欄」があり家庭との連携が必要となる。

全国の様々な地域と関わりのある教材や世界の国々を扱った教材など、多様な文化に触れることのできる内容となっている。その一方で、社会的に議論の分かれる問題や課題を扱っている教材が含まれており、指導上の工夫が必要である。

光村図書出版は、1年間の学びが見通せるシーズン及びユニットから構成され、学校生活の実態と生徒の成長を考慮して編集されている。

道徳的価値を実際にロールプレイングなどで体験したり、考えたりすることもできる構成になっている。また、小学校の学び直しの教材やいじめ防止に関する教材などが掲載されている。

教材ごとの「学びのテーマ」及び「学びの記録」の取り扱いについては、教材を読み解くことを中心とした授業展開となるという意見もあり、指導上の工夫が必要である。

日本文教出版は、主題名と2点の発問例で、1時間の学習の流れが見え、生徒と教師が共に「考え、議論する」内容として編集されている。

「学習の進め方」には、学習に適した「ロールプレイング」が紹介されている。「参考」では、教材の理解を深めるための資料が全学年に複数掲載されている。

別冊の「道徳ノート」は、毎時間、生徒が自分の考えを書きことができるが、家庭との連携が必要となる。また、「自分への振り返り」については、結果を問う質問内容となっており、取り扱いについては、指導上の工夫が必要である。

学研教育みらいは、各学年の巻頭で生徒が考えを深めるためポイントに沿って、主体的に見通しをもって学んでいくことができるように編集されている。

短編教材やオリンピック・パラリンピックを扱った内容を取り上げている。生徒の興味関心を引く現代的な課題を取り上げた教材や、生徒に身近な教材が掲載されている。

教材には、特設ページが設けられており、多様な学習指導が展開できる一方、主題名が示されていないかったり、教材の中には現役の選手などが掲載されたりしているため、その取り扱いについては、指導上の工夫が必要である。

廣済堂あかつきは、中学生が主人公になっている教材や現代的な課題に関する身近な教材もあり、自分との関わりで考えることのできる編集となっている。

問題解決的な学習や体験的な学習を促す教材が全学年に掲載され、学習のめあてや問いをもって考えられる。

生徒の学習状況に応じて活用することのできる別冊の「道徳ノート」は、生徒の学習状況を記録に残すことができる。その一方で、複数の道徳的価値を同一ページ内で扱う形式になっており、学びを深めるためには、指導上の工夫が必要である。

日本教科書は、学習指導要領の道徳的価値順に教材が配置され、巻末には教材と道徳的価値についての対応が分かるように編集されている。

各地域や各学校の特色や方針に合わせたカリキュラム・マネジメントを意識した構成となっているものの、その活用については、各学校で工夫が必要となる。

3年間を通じて取り上げている人間関係を扱った教材があり、中学生には話し合いづら内容ではないかとの意見もあった。また、各教材の「考え話し合ってみよう」にある発問構成は、指導者による補足が必要であり、指導上の工夫が必要である。

平成31年度使用中学校教科用図書審議会 委員名簿

	氏 名	備 考
区民委員	伊東 佳代子	中学校PTA連合会顧問
区民委員	竹内 純	中学校PTA会長
区民委員	荒井 路子	公募
区民委員	鈴木 洋子	公募
学校関係者委員	阿部 昭彦	第三中学校校長
学校関係者委員	不破 裕子	第六中学校校長
学校関係者委員	大塚 悟	第八中学校校長
学校関係者委員	小椋 孝	第九中学校校長
教育委員会関係者委員	松原 修	教育推進部教育指導課長